

公社等外郭団体の経営状況等の評価に係る評価シート
 【公益法人以外用】

団体名称	(一財)千葉県勝浦海中公園センター	所管所属名称	商工労働部 観光政策課	評価実施年度	令和6年度	※1【説明】は評点をつけた側が理由等を記入し、【コメント】は評点をつけた側の採点結果及び説明を受けて評点をつけていない側が所見を記入しています。	
評価の視点の	評価項目	評価配点	調査票該当番号	団体による評価		所管所属による評価	
				評点	説明又はコメント※1	評点	説明又はコメント※1
1 県関与の必要性	① 当初の目的を踏まえつつ現在において必要性を問い直してもなお、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2～4		【コメント】 新型コロナが5類感染症に移行し行動制限がなくなったこと等に伴い、令和5年度の入場者数は13万4千人と前年度と比較して1万3千人増加した。今後とも、集客に努めるとともに、経営改善に取り組んでいく必要がある。	1	【説明】 ・当該団体の担う、自然保護思想のかん養、海中公園地区の保護という目的は現在においても意義を有しており、また、海中展望塔は地域観光振興に貢献し、県の施策に沿うものであることから、一定の関与は必要である。 ・台風及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和元～3年度は大きな被害を受け、入場者数が減少したが、令和4年度の入場者数は平成21年度以降では初めて12万人台に回復し、令和5年度は13万人台と増えてきている、 ・今後も県と連携した経営改善に努めていく必要がある。
	② 類似団体や民間団体などの他の担い手が存在している場合においてもなお、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい又は類似団体等は存在しない。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2～4			1	
	③ 県が自ら施策を実施することその他の事業手法と費用対効果を比較して、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2～4			1	
	④ 将来見通しを踏まえた、現状の県関与の必要かつ妥当な水準・方法	1点：水準・方法の維持や拡大が適当である。 0点：水準・方法の縮小や拡大、見直しを検討中である。 ▲1点：水準・方法の廃止検討や縮小、変更を行っている。	全体			1	
	⑤ 県が定めた関与方針（策定済みであれば経営健全化方針を含む）に沿った取組	1点：概ね順調に進捗している。 0点：進捗していない部分がある。 ▲1点：主要な部分が進捗していない。	5 5－2			0	
2 経営体制	① 「理事会等の開催・運営」や「財務諸表等の作成・公表・備置」の法令等に基づいた適正な実施	1点：義務を超えて行っている。 0点：義務の範囲内で行っている。 ▲1点：義務を守れていない部分がある。	7	1	【説明】 理事会等は議事録を作成し適正に行っている。 監査については、公認会計士は立てていないが、監事2名を役員にし適正に行っている。 財務諸表等については、公表は行っていないが備置をし義務の範囲内で適正に行っている。 非常勤役員として、新勝浦市漁業協同組合役員を理事に起用している。 中長期的な計画は3年計画となっており、入場料収入、レストラン・売店委託事業については目標を達成でき、経費の削減の部分は進めることができた。		【コメント】 法令に基づく義務の範囲内又は超えて適正な経営体制が図られている。 また、策定された中長期的な経営計画において、令和4年度に続き、令和5年度も入場料収入、レストラン・売店委託事業については目標を達成できしており、今後も引き続き入場料等の増加に取り組む必要がある。
	② 「監査」の法令等に基づいた適正な実施	1点：義務を超えて又は外部的な監査を行っている。 0点：義務の範囲内で行っている。 ▲1点：義務を守れていない部分がある。	7	0			
	③ 役員（監事・監査役を除く）への民間人材等（民間人材及びプロパー）の起用	1点：経営責任者に民間人材等を起用している。 0点：経営責任者ではないが民間人材等を起用している。 ▲1点：民間人材等は起用していない。	8	0			
	④ 人員体制の将来見通し	1点：課題は見当たらない。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	8	1			
	⑤ 中長期的な経営計画や達成目標となる指標の達成状況	1点：概ね達成できている。 0点：達成できていない部分がある。 ▲1点：策定していない又は主要な部分が未達成である。	9	1			
3 財務状況	① 債務超過の状況	1点：直近3年間はいずれも債務超過ではない。 0点：直近3年間に債務超過の年度があった。 ▲1点：直近の決算は債務超過である。	10	1	【説明】 経常損益は、令和4年度に引き続き黒字となった。令和5年度の入場者数は134,000人であり、令和4年度と比較して13,300人の増加となった。 しかしながら、老朽化した施設のメンテナンスが必要不可欠であり、その多額の費用を確保することが大きな課題となっている。		【コメント】 令和3年度より、入場者数は増加傾向にあり、令和4年度に続き、令和5年度も経常損益が黒字となったが、今後の点検・修繕費を自主財源にて賄うためには、更なる集客増に取り組む必要がある。
	② 経常損益の状況 【公益法人以外用の評価項目】	1点：直近3年間はいずれも黒字である。 0点：直近3年間に赤字の年度があった。 ▲1点：直近の決算は赤字であった。	10	0			
	③ 繰越損益の状況 【公益法人以外用の評価項目】	1点：直近3年間はいずれも黒字である。 0点：直近3年間に赤字の年度があった。 ▲1点：直近の決算は赤字であった。	10	1			
	④ 経営健全化の必要性	1点：経営健全化方針の策定要件に該当しない。 0点：要件に将来的に該当する可能性がある。 ▲1点：要件に該当する。	5－2	1			
	⑤ 財務状況の将来見通し ※経営健全化方針を策定している団体は、現時点の中長期的な収支予測比で、上回る1点、概ね予測どおり0点、下回る▲1点	1点：課題は見当たらない。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	全体	0			
4 県からの支援	① 県からの人的な支援の状況	1点：人的な支援は受けていない。 0点：人的な支援を受けている。 ▲1点：県が給与等を負担する人的な支援を受けている。	4、8	0	【説明】 県に対し、常務理事（兼）所長として、人的な支援を行うよう要望している。但し、借入金や補助金など、財政的な支援は受けずに運営が行えている状況である。		【コメント】 当該団体より要望を受け、常務理事（兼）所長として県退職者を紹介しているが、その給与負担や、その他借入金の支援は行っていない。ただし、令和6年度は海中展望塔の空調設備の改修費用のため補助金を出すことにした。
	② 経営難を理由とした県からの借入金残高の状況	1点：0円又は対前年度決算比で減少が10%超である。 0点：対前年度決算比で増減が10%以内である。 ▲1点：対前年度決算比で増加が10%超である。	11	1			
	③ 経営難を理由とした県による損失補償等の状況	1点：0円又は対前年度決算比で減少が10%超である。 0点：対前年度決算比で増減が10%以内である。 ▲1点：対前年度決算比で増加が10%超である。	11	1			
	④ 運営費補助や赤字補填等を目的とした県からの財政的な支援の状況	1点：直近5年間には受けていない。 0点：直近5年間で受けた年度があった。 ▲1点：直近の決算で受けていた。	12	1			
	⑤ 経営難を理由とした県の追加出資又は出捐の状況	1点：直近5年間には受けていない。 0点：直近5年間で受けた年度があった。 ▲1点：直近の決算で受けていた。	12	1			

評点の集計結果等			
評価の視点	基準点※2	評点	評価点数
	①	②	①+②
1 県関与の必要性	5	4	9
2 経営体制	5	3	8
3 財務状況	5	3	8
4 県からの支援	5	4	9

※2「基準点」は、を超えていなければ、その評価の視点は改善が望まれる状態を意味する点数で、団体の強み、弱みを把握して改善を図る際に、参考にしてもらうことを期待しています。

総務課による総括コメント
一部を除き経営状況等について問題がある事項は、特段見受けられない。関与方針に基づき団体と県で連携して経営改善を進め、引き続き、団体の設立目的や県が関与している意義に沿った事業展開を図っていただきたい。

